

安全環境対策本部長パトロールの概要

1. 概要

この安全環境対策本部長パトロールは、より一層の工事関係者の安全意識の向上・啓発を図ることを目的として、昨年度に引き続き2回目の安全環境対策本部長安全パトロールを9月13日(水) 鹿島港外港地区の防波堤関連工事3件を対象に実施した。

・出席者

五百蔵良平理事、株木雅浩理事、本間達郎理事、五関淳理事、福田専務理事
中澤貴志(代理出席)、安全環境対策部会

・対象工事

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ①鹿島港外港地区南防波堤本体工事 | 施工者：若築建設(株) |
| ②鹿島港外港地区南防波堤築造工事(その3) | 施工者：五洋建設(株) |
| ③鹿島港外港地区中央防波堤付帯工事 | 施工者：若築建設(株) |

五百蔵本部長の挨拶「協会理事が会員会社の現場を見ることで、各社の職員や協力会社の方々により一層の安全意識を高めてもらい、労働災害の撲滅に協会を挙げて取り組んで行く」に始まり、対象工事3件の工事概要及び安全管理活動について現場代理人から説明を行い、特に説明の中では、「鹿島港ではうねり等の影響により、今年の作業日は8月：6日、9月：0日」との実情報告があった。その後、現場パトロールは、南防波堤本体工事をドライドックでのケーソン製作状況の安全確認を行い、南防波堤築造工事(その3)及び中央防波堤付帯工事では交通船からの現場状況の確認を行った。

○パトロール実施状況(南防波堤本体工事)



2. パトロールの講評

ケーソン製作工事では、現場の整理・整頓の状況は非常に良好であった。各理事からは、「作業日数を増やすための技術開発が必要」、「気象条件が大きく変化している中での作業状況を現場の声として発注者に届けることが必要」、「事故防止はもちろんであるが、万が一事故が発生した場合の関係機関への連絡などの対処方法を再度確認・徹底して欲しい」等の意見があり、安全環境対策本部長からは「整理整頓が出来ている現場は事故の発生も少ない。この流れを大切にしてメリハリの利いた職場環境を目指して欲しい」と総括。また、建設業界の課題である働き方改革への対応として、「3件工事で勉強会を立ち上げるなどして、休日の取得等についての意見を本社や協会に届けて欲しい」と現場代理人へ要望した。